

第2回 あいさつ

朝、目が覚めて、今日という日がスタートします。毎日私達が何を最初にするでしょうか。タバコの好きな方でしたら朝の一服、お茶の好きな方ですと朝茶を一杯、または香りを楽しみながらコーヒーをたててのんびりした時を過ごす。こんな事かなあと考えますが、対人間同志としてはいかがでしょうか。妻や夫、親や子供と、家族と顔を合わせますよね。そのときの第一声は、「おはよう！」「おはようございます！」、外へ出て近所の方と顔を合わせますし、会社に行っても上司、同僚、後輩に合った時に、まずは挨拶だと思います。

出会いがあれば、全てが挨拶から始まります。今、生きている社会の中に“あいさつ”がなかったらどうでしょうか。どことなく堅い、温かみのない世界になってしまうのではないかと思います。明るく元気に「おはよう！」と声を掛け合えば潤いも出てきます。人は感情の動物とよく言われますが、自分自身の喜怒哀楽により、その日その日によって心の色が違ってきます。自分が暗く、誰かに当たってしまいたいと思う時、たまたま周囲にいた他の人も気分が優れない時にはどんな事になるでしょうか。たとえば、ちょっと身体が触れたくらいでも何か言いたくなってしまうのではないのでしょうか。その先は言うまでもありません。お互いに口論し合い、拳句の果てに喧嘩まで発展してしまうでしょう。家庭で面白くないことがあり、イライラしていると知らず知らずのうちにその心が顔にも表れ、表情、態度にも出てきてしまいます。私もそうですが、気持ちの落ち着かない時は、他人と顔を合わせたくありませんし、勿論、話し掛けることも嫌なものです。この状態が長く続けば続くほど、気持ちが後ろ向きになり、悪いことを考え、マイナス嗜好になってきますが、その壁を取り除くのが「おはよう！」という挨拶ではないのでしょうか。

人とのふれあいのきっかけとなる挨拶の大切さは、皆さんも感じていらっしゃるだろうと思います。挨拶をされて、気分を悪くする人はいないですよね。こちらから声をかけることによって、相手も返事をしてくれます。挨拶から初めて心の会話が出来てくるでしょう。こちらから一生懸命明るく声をかけることによって、自分の心も開けてきますし、相手の方もきっと嬉しさを感じてくれるはずだと思いますし、お互いの気持ちも見えてくるようになるでしょう。

ちょっと苦手な方と話しをするのは大変苦労すると思いますが、気軽に挨拶は出来ますよね。「嫌な人。大嫌いだ。」と思っている人と顔を合わせると、知らず知らずのうちに表情が変わってきます。自分では平静を装っていたつもりでも、気持ちがどこかに現れてきて感じ取られてしまうものです。相手との潤滑油ともなるべき挨拶をここで使うのです。

それも、嫌だなあという気持ちを抑えて、こちらこそよろしくお願いしますという心を持って、前向きな気持ちでやってみたら、相手も変わってくるはずです。相手がどうしようもない駄目な人と決め付けしないで、自分が相手に対してどう行動すれば変わっていくのかを考えてみませんか。きっとこれまでになかった方向に物事が動いていくようになると思います。

今日から、いや、たった今から「こんにちは」「今晚は」と笑顔で目の前の方に声をかけてみませんか？

福島県二本松市岳温泉1丁目1番地

庭園の宿 松溪苑

代表取締役社長 佐藤 俊夫